

# <大会要項>

## 1. 大会名称

2022 年度 東京都学生同好会 **秋季** アイスホッケー選手権大会

## 2. 主催

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟

## 3. 期間

令和 4 年 10 月 6 日 (木) ~ 12 月 日 ( )

## 4. 会場

ダイドードリンコアイスアリーナなど

## 5. 大会事務局

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟

〒202-0021 西東京市東伏見 3-1-25 (ダイドードリンコアイスアリーナ内)

Tel.042(467)8282 Fax.042(468)2131 Mail : tihf@tihf.gr.jp

## 6. 参加チーム (5 チーム)

慶應ホワイトベア、早稲田タイタンズ、早稲田ポラーベアーズ、明治オウルズ、法政チーフス

**【不参加】日大歯学部**

## 7. 大会運営委員

松永 晃 (連盟理事・学生同好会委員長) 林 賢一郎 (連盟理事・学生同好会副委員長)

佐藤 仁美 (連盟委員)

梅原 翼 (学生委員長・PB)

矢野 有朔 (学生副委員長・HC)

甲田 柊馬 (総務・KW)

菊川 篤郎 (会計・MO)

宮下祐真 (記録・WT)

## 8. 納入金総額 < **¥178,000 (全チーム) / ¥216,000 (準決勝進出チーム) / ¥254,000 (決勝進出チーム)** >

大会参加費：¥30,000

試合運営費：予選 R：4 試合、決勝 T：1~2 試合

【予選リーグ】・・・ **¥148,000 (¥37,000×4 試合)** 全 10 試合(5 チーム 1 回戦総当たり)

【決勝 T】・・・ **¥38,000~76,000 (¥38,000×1~2 試合)** 全 3 試合(準決勝、決勝)

■参加費・予選リーグ費用(¥178,000)を **10月31日(月)**までに大会口座に入金すること。

■準決勝費用(¥38,000)を **11月30日(水)**までに大会口座に入金すること。

■決勝費用(¥38,000)を **12月15日(木)**までに大会口座に入金すること。

■入金後に**会計担当委員に連絡**をすること。(会計委員は、全チームからの連絡後に松永まで連絡する。)

## 9. 選手登録(連盟登録、大会登録、試合出場登録)

### ①日ア連選手登録(web 登録)

本大会に出場する選手の日ア連(FaceOff システム)への追加登録は **10月3日(月)を締切**とし、同一年度(4/1~3/31)の移籍は認めない。追加登録は <https://www.jihf.or.jp/faceoffadmin/>からチーム ID とパスワードを入力してログインし手続きすること。(登録費の振込も、上記の期限までに完了させること)

※FaceOff 登録画面のスクリーンショット等を **PDF 形式**で提出 **10月3日(月)締切**

### ②大会登録 (大会申込)

① の日ア連登録者より「大会参加申込書(大会登録者一覧表)」と「参加同意書」を作成し提出する。

**10月3日(月)締切** ※締切日を過ぎての登録は一切認めない。

### ③試合出場登録(オールメンバー表)

各試合に出場する選手・役員を②の大会登録者より選出し(最大で GK2 名、プレイヤー20 名の計 22 名、監督・コーチ 6 名)、**試合開始 30 分前までにオールメンバー表を 3 部提出**する。

## <大学の規定>

登録選手の在学する大学は、関東大学リーグに準じ、関東地方および山梨県とする。

## <学生証>

大会登録者の学生証について、「**PowerPoint ファイル**」にて提出する。(提出のない者は出場不可)

**提出期限 10月3日(月)**

提示を求められた際にすぐに対応できるよう、全登録者は顔写真入り学生証を携帯しなければならない。

## <登録年限>

選手登録は、各人5年間(5年生)までとする。ただし医学生および大学院進学者については、初年度から6年間(6年生・M2)まで認める。

## <体育会に所属していた選手についての規定>

過去に体育会に所属していたものについては、連盟からの登録抹消から5ヶ月後に登録を認め、6ヶ月後から公式戦への出場を認める。

## 10. 傷害保険

参加チームは傷害保険へ加入しなければならない。

本大会中における負傷について、本連盟は一切責任を負わない。

証書を **PDF ファイル** で提出。**提出期限 10月3日(月)**

## 11. 表彰

優勝チームには優勝杯および賞状を、2・3位チームには盾および賞状を授与する。

個人賞として、

最優秀選手賞1名、ベスト6、得点・アシスト・ポイント賞各1名、

最優秀セーブ率賞1名(GK)\*、**新人賞1名(春季大会のみ)** に、賞状を授与する。

※試合数の50%以上の滞氷時間を満たしていることを条件とする。

・選考・ポイント換算は、決勝トーナメントを含む。

## 12. 試合映像撮影・配信

本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、(公財)日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を(公財)東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を(公財)日本アイスホッケー連盟および(公財)東京都アイスホッケー連盟に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

## 13. 大会口座名

### <大会参加費・試合運営費振込先>

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店  
口座名 : (財)東京都アイスホッケー連盟  
口座番号 : 0103069  
預金種目 : 普通預金

### <選手登録費振込先>

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店  
口座名 : (財)東京都アイスホッケー連盟 登録加盟  
口座番号 : 0129346  
預金種目 : 普通預金

\*振込みの際は、振込人を必ず「**チーム名**」とすること。

## <競技要項>

### 1. 試合方法・試合時間及び順位決定

☆試合方法(リンク使用時間：1時間30分)

全5チームによる予選リーグ(1回戦総当たり)と決勝トーナメントを行う。

- ・全試合パックスによりホームチームを決定する。(この時点でPSSの先攻も決める。)

☆試合時間

全試合正規時間(ストップタイム) 15分×3ピリオド、休憩3分、練習5分

タイムアウトあり

- ・ただし、貸切終了2分前になった時点で打ち切りとする。  
※江戸川リンクは、5分前にて打ち切りとする。
- ・また、試合の残り時間にかかわらず、得点差が10点以上開いた場合、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとし、点差が縮まっても続行する。
- ・以上の条件により、ランニングタイムで試合が進行している場合でも、以下の場合にはストップタイムとする。
  - ①ペナルティ発生時から最初のフェイスオフまで
  - ②得点時間の確認(確認後すぐに時計を進める)
  - ③タイムアウト(アナウンスと同時に止め、終了ブザーと同時にスタートする)
- ・第3P終了時に同点の場合、サドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSで勝敗を決定する。  
※下記規定時間内に決着がつかない場合、予選リーグでは引き分けとする。  
(PSS規定時間・・・ダイドーは貸切終了時間から3分後まで、江戸川は貸切終了時間まで。)  
→ただし、決勝トーナメントでは、予選リーグ上位チームの勝ちとする。

☆試合終了後の整列

ブルーライン上での挨拶のみ行う。挨拶後はベンチに戻る。

- ・キャプテンは、本部席前の審判に挨拶に行く。

☆順位決定(予選リーグ)

レギュラータイム勝ちを3点、PSS勝ちを2点、PSS負け・PSS引き分けを1点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。

勝ち点と同じ時は、

- (1)レギュラータイム勝利数の多いチーム
  - (2)当該チームの対戦成績
  - (3)当該チーム同士(3チーム以上)の試合で得失点差の大なるもの
  - (4)当該チーム同士(3チーム以上)の試合で総得点の大なるもの
  - (5)全試合の得失点差の大なるもの
  - (6)全試合の総得点の大なるもの
  - (7)全試合のペナルティータイム(分)の小なるもの
  - (8)直近大会で順位が上位であるもの
- 以上1)～8)の条件順で順位を決定する。

### 2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則による。

### 3. 補助規則(ローカルルール)

- 1) 試合を棄権するチームは試合時間の24時間前までにその理由を連盟まで文書にて届けること。(その場合、0対15の不戦敗となる。)
- 2) 未登録者が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし0対15の不戦敗とする。
- 3) プレイヤーはフルフェイスマスクまたはバイザーを着用しなければならない。バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。(フルフェイスマスクの付帯パーツは正しく装着すること)
- 4) フルフェイスマスクを着用しないにかかわらず、マウスガードを必ず着用しなければならない。
- 5) 危険な防具を着用している選手は試合に出場できない。試合前に必ずレフェリーが確認する。試合中、正しく防具を着用していない選手に対し、レフェリーの判断で警告なしに1回目の違反より直ちにミスコンダクトペナルティを科すものとする。
- 6) 試合の際に役員登録されている役員(監督・コーチ)がベンチ入りしない場合、責任者としてチームキャプテンが責任を負うものとする。
- 7) ベンチには最大28名(GK2名、プレイヤー20名の選手22名、役員6名)まで入れる。

- 8) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。当該選手が得点をあげても無効となる。また、当該選手がペナルティーを犯した場合は、代替選手がそのペナルティーを受けるものとし当該選手は直ちに退場となる。
- 9) 試合の実施は、**試合開始までに GK を除き 6 名以上、第 2P 開始までに GK を含めて 6 名以上**とし、それ以下の選手数のチームは試合を放棄したものとみなし、0 対 15 の不戦敗となる。
- 10) 試合中における**タイムアウトは、各チーム 1 回使用できるものとする。**
- 11) ユニフォーム及びストッキングはチーム全員が揃えるものとする。  
背ネームは、**原則 姓のみ可、ニックネーム等は不可。**  
背ネームを隠す場合、**同色系の布を縫い付け**、試合中にはがれないようにすること。  
タイダウンストラップについては「令和 6 年 8 月 1 日」までに施行予定。  
~~\*特例：新入部員でどうしてもユニフォームが揃わない者は、ユニフォームと同色系のジャージの着用を認める。その場合の背番号は、テープ等で表示する。(春季大会のみ)~~
- 12) 学生証の提示を求められた場合はいつでも確認を受けられるように、試合関係者は全員が学生証を用意しておかなければならない。
- 13) 審判は、レフェリー委員会に依頼するとともに、**ラインズパーソン (LP) は当番チームより 1 名派遣する。(11 月より)**  
**※不測の事態でレフェリーが不在の場合は、LP2 名(2 審制)で試合を行う。**  
決勝 T はレフェリー・ラインズパーソンともレフェリー委員会に依頼する。
- 14) 審判(ラインズパーソン)は当番チームを代表するものであるから、その責任を負うことのできる**チームの 3・4 年生の幹部級の者か、アイスホッケー歴 3 年以上の者**が行わなければならない。かつ、**審判をする者はクリニックを受講**しなければならない。
- 15) 当番チームは試合に先立ち、ラインズマン 2 名の名前を公表しなくてはならない。
- 16) 当番チームは**ラインズパーソン 1 名、ゴールジャッジ 2 名、本部 6 名 (計時 1、掲示板 1、ゲームシート 1、アナウンス 1、ペナルティボックス 2)**が**試合開始 30 分前**に集合しオフィシャル業務を努める。  
**PB 担当 2 名は、スケート靴持参する。**  
**LP は、①スケート靴 ②ヘルメット ③貸与レフェリージャージを持参する。**
- 17) 当番の肩代わり：当番の肩代わりはトラブルの原因になりやすいので極力避けること。やむをえず肩代わりをする場合は、試合開始 24 時間前までに**メーリングリストにて連絡**すること。
- 18) 当番チームの役職者：当番スタッフのうち**必ず 1 名はチームの役職者(GSV を担当)を含めなくてはならない。**
- 19) 当番ならびに試合の遅刻、欠席、棄権及び連盟規約に違反した場合、罰金から無期試合停止までの罰則を科す。**不戦敗(棄権・放棄等)の場合は、相手チームの試合運営費を負担する。当番の遅刻(15 分前から対象)は、¥1,000/人、欠員は¥2,000/人を徴収する。**
- 20) 対戦表の**左側のチームをホームチームとし、本部席より左側のベンチを使用する。**
- 21) ピリオド間の休憩の後、最初にプレーする 6 名以外は速やかにベンチに入ること。
- 22) **ゴール裏での撮影等は禁止する。(観戦は指定場所で行う。MG 含む。)**
- 23) **ダイドー・東大和で行われる試合において、ベンチ入りするスタッフ(ドアマン、控え GK 含む)が学生の場合、フルフェイスマスクを着用**しなければならない。
- 24) 連盟より処分を科せられているチーム・選手の確認を行い、適切に対処する。
- 25) 感染症予防対策については、別途定める。

#### 4. 試合結果報告

- 各試合について、対戦チーム(2 チーム)とオフィシャルチームの 3 チームは、それぞれ個別に都連スコア報告サイトに連絡をすること。
- オフィシャルチームは、記録担当にゲームシートの画像を送信すること。

## 新型コロナウイルス感染症対策

### <同意書>

大会参加に関する同意書を提出する。 **10月3日(月)締切**

### <体調管理>

- 1) 選手、スタッフ、オフィシャルは試合当日に検温を行い、**37.5℃**未満であればメンバー表にチェックを付けて提出すること。**37.5℃**を超えている場合はリンクに立ち入らないこと。また、少しでも体調不良を感じるものは、試合出場をさせないようチーム内で責任をもって管理すること。(観客についても同様)
- 2) チーム内で感染者が出た場合は、速やかに連盟担当者まで連絡すること。  
(直近の接触状況により、棄権も積極的に検討すること。)
- 3) 近親者・勤務先等に感染者が出て濃厚接触者となった場合は、連盟担当者に連絡し、当該者は最低**5日間**活動を自粛する。
- 4) チーム関係者(選手、**MG**、スタッフ)は、**10月1日から大会最終日まで**、体温、体調および簡単な外出メモを記録すること。

### <マスク>…不織布マスク

- 1) リンク入場後は、更衣中・トイレも含め着用。
- 2) 選手は、試合中は免除。
- 3) 選手以外は常時着用。

### <唾吐き>

- 1) 会場内でのツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。
- 2) 一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

### <ベンチ内>

- 1) ベンチにおいて、選手・スタッフは大声を出さないこと。
- 2) ベンチで**スタッフがマスクを外して声を出した場合、ベンチ・マイナーペナルティ**を科す。
- 3) 試合中、選手は座っていること。交代選手も交代する直前まで座っていること。
- 4) ピリオド間の**休憩時間は、全員ベンチで過ごす**こと。

### <ダイドールリンク>

- 1) 入場時に検温、手指消毒を行う。
- 2) 入場は**30分**前、退場は**30分**以内。(雨天時も同様)
- 3) 入場は夜間口、退場は北口。
- 4) 更衣場所は、当日のリンクの指示に従う。
- 5) 路上での荷物積み下ろし等は禁止。
- 6) 広場での声出し、体操以外のウォーミングアップは禁止。
- 7) 選手の水分補給以外の**飲食は禁止**。(オフィシャル、観客も同様)
- 8) **声を出しての応援は禁止**。(MGの掛け声、練習中の掛け声も含む。)
- 9) ベンチ入り以外のチーム関係者および観客は、イス席に座ること。(1席以上の間隔をあける)原則、**ベンチサイドの観客席(イス席)**を使用する。
- 10) 本部席上部の机席は、連盟関係者以外使用禁止。

### <その他>

- 1) 施設に入る際は、手指消毒を実施し、必要な場合は検温を受ける。その他、施設の指示に従う。
- 2) ウォーターボトル、タオルは共有しない。
- 3) 試合中断時のバックに触れない。GKはキャッチしたらリンク上に置く。
- 4) オフィシャルは手指消毒を徹底する。

### <キャンセル規定> (リンク側のキャンセル規定に従って対応する)

- 1) 大会期間中に棄権が発生した場合、棄権したチームは試合の全額費用(自チームと対戦チーム分の試合費)を負担する。
- 2) 大会期間中に中止となった場合には、参加費の返金はしない。